

兵庫ジャーナル

2017.11.27(月)



介護の日 イベント

介護技術コンテスト初開催

「中山ちぢり」の片岡さんが優勝

「介護技術コンテスト」の初代優勝者に賞状などを贈呈

福祉・介護の魅力を発信する「介護の日イベント」が12日午後、神戸市内で開かれ、延べ約2百人が参加した。県老人福祉事業協会などが11月11

日の「介護の日」に合わせて毎年、開いている。

1部では、老人ホーム「同和園」付属診療所の中村仁一所長が講演し、介護や医療などの終末期支援について、受け身ではなく自らの望みに基づいた主体的な利用を呼びかけた。

続く2部では、介護技

術コンテストを初開催。県下各ブロックから出場した7人の介護職員が田頃の成果を発揮し、技術の高さや専門性を競つた。その結果、特別養護老人ホーム中山ちぢりの片岡有里乃さんが優勝。総評で審査委員長の北嶋勇志同協会副会長は、「開かれた職業にしたいとの思いで開いた。現場では職員が使命感と誇りを持って従事している」と一層の鍛錬と多くの入職を呼びかけた。

この日、会場には県立龍野北高校総合福祉科の生徒が運営ボランティアで参加するなど多くの若

者も来場し、楽しみながら福祉・介護への関心を深めていた。